

美術－２（第２学年） 他者と考えを交流することにより見方や考えを深める事例
 【学習活動の概要】

1 題材名 お菓子のパッケージデザイン		
2 題材の目標 伝達の表現に関心をもち、お菓子の味やイメージなどを基に表現の構想を練り、表現方法を工夫し、創造的に表現するとともに、伝達性と美しさの調和などを感じ取り、自分の価値意識をもって味わう。		
3 評価規準 【美術への関心・意欲・態度】 ・パッケージのデザインに関心をもち、造形的な美しさなどを総合的に考えて構想を練ったり、材料や用具の特性を生かしたりしようとするとともに、主体的に見方や理解を深めようとしている。 【発想や構想の能力】 ・お菓子の味やイメージ、条件、伝えたい内容、他者の気持ちなどを基に、形や色彩の効果を生かして造形的な美しさなどを総合的に考え、表現の構想を練っている。 【創造的な技能】 ・絵の具やコンピュータなどの特性を生かし、新たな表現方法を工夫したり、制作の順序などを総合的に考え見通しをもったりしながら、創造的に表現している。 【鑑賞の能力】 ・造形的なよさや美しさ、作者の意図と創造的な表現の工夫、伝達性と美しさの調和などを感じ取り、自分の価値意識をもって味わう。		
4 題材について 本題材は、多くの人にお菓子のイメージや内容を伝えるためにパッケージのデザインをする。ここでは、他者に伝わるように表現することが求められ、他者と意見を交換し、多くの人が共通に感じる形や色彩の感情効果などを分かりやすさや美しさの視点から考えて表現や鑑賞をする。		
5 主な学習活動（全8時間）		
	学習活動	言語活動に関する指導上の留意点
導入 (1)	○お菓子のパッケージデザインの要素等について理解し、味や特徴、イメージ、購入する者の気持ちなどを踏まえて、発想し表現の構想を練る。	
展開 (6)	○企画書やアイデアスケッチを基に各自のデザインのコンセプトを班で説明し合う。(活動①) ○他者の助言等を基に構想に修正を加え、アイデアスケッチを練り直す。(活動②) ○絵の具やコンピュータなどの特性を生かし、表現方法を工夫して表現する。	・デザインの意図や工夫について班で紹介し合い、他者の意見を基に多くの人が共通に感じる形や色彩などの感情効果などを考えてデザインを改善する。 ・構想を練るときに、絵や文字を用いてアイデアスケッチを描く。
まとめ (1)	○お互いの完成作品を鑑賞し、デザインのコンセプト、形や色彩の効果などの工夫をとらえ、批評し合う。(活動③) ・他者の作品のデザインのコンセプト、形や色彩の効果などを感じ取り味わう。	・班やクラス全体で批評し合うことにより、デザインの分かりやすさや美しさについて、見方を広げる。

【解説】

【指導事例と学習指導要領との関連】

中学校学習指導要領 美術 第2学年及び第3学年「A 表現」(2)イにおいて、「伝えたい内容を多くの人々に伝えるために、形や色彩などの効果を生かして分かりやすさや美しさなどを考え、表現の構想を練ること。」と示している。また、「B 鑑賞」(1)アにおいて、「造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫、目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り見方を深め、作品などに対する自分の価値意識をもって批評し合うなどして、美意識を高め幅広く味わうこと。」と示している。

本事例は、構想の場面では、各自が考えたお菓子のパッケージデザインについて他者と意見を交換することにより、多くの人が共通に感じる形や色彩などの感情効果などについて理解を深めることとしている。更に絵や文字を用いてアイデアスケッチをすることにより、構想がより明確になる。鑑賞の場面では、他者の作品のデザインのコンセプト、形や色彩の効果などを感じ取り味わい批評し合うことにより、デザインの分かりやすさや美しさなどについて、見方を広げることになる。

【言語活動の充実の工夫】

○各自のデザインのコンセプトを班で説明し合うことにより、他者の助言等を基に多くの人が共通に感じる形や色彩などの感情効果などを考えてデザインの改善点を把握することをねらいとする。(活動①)

・企画書やアイデアスケッチを基に、デザインのコンセプトとそれを演出する形や色彩の効果について班で説明をし、他者の意見を聞く。

○把握したデザインの改善点を基に構想に修正を加え、アイデアスケッチを練り直すことをねらいとする。(活動②)

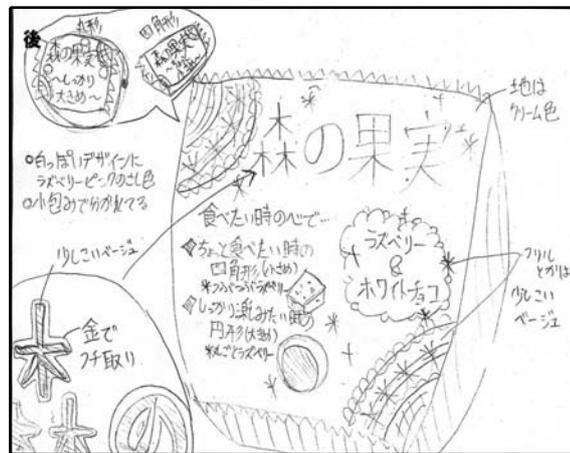
・伝えたい内容を多くの人々に分かりやすく美しく伝えるには、受け手の印象などを考えながら、何のために、どのような内容を、どこで、どのような方法で、誰に伝えるかという目的や条件を基に十分に構想することが重要である。そして、内容や雰囲気にもふさわしい構成や配色、文字の取り入れ方など、美的秩序がもたらす効果を理解させて発想や構想ができるようにすることが大切である。

・絵や文字を用いたアイデアスケッチによりイメージを具体化しながら、構想のポイントや留意点などを整理し構想を練り直す。

〈生徒が書いた企画書〉

- 商品名：「森の果実」
- コンセプト
 - ・少し食べたいときのお菓子
 - ・上品、身も心も美しく
 - ・甘酸っぱいラズベリーで心を癒す
- ターゲット
 - ・おしゃれに決めたいOLさん
 - ・少し大人びた女子高生
- デザインの工夫
 - ・柔らかいパステル調の色調で、安らぎと上品さを感じさせるデザインにする。

〈生徒が練り直したアイデアスケッチ〉



○デザインのコンセプトに照らして作品を班やクラス全体で鑑賞し批評し合うことにより、分かりやすさや美しさ等の視点からデザインの工夫などをとらえ、見方を広げることがをねらいとする。(活動③)

・作品の完成後、お互いの作品を鑑賞し、他者の作品のデザインのコンセプト、形や色彩の効果などを感じ取り味わう。

・批評し合うことにより、多くの人が共通に感じる形や色彩などの感情効果などをとらえ見方を広げる。

・作品に対する自分の考えを、ワークシートにまとめる。